



平成22年 夏 第24号

静岡てんかん・神経医療センター情報誌

あかり

A K A R I

看護師さんを
募集しています

高橋幸利臨床研究部長が「文部科学大臣表彰科学技術賞(開発部門)」を受賞!	1
自己紹介	2
第1回「ボランティア意見交換会」を開催して	3
ディポネゴロ大学(インドネシア)との学術交流 / 駿府公園	3
第1回「病院フェア」を開催して	4
重症心身障害看護の院内認定看護師を育成しています	5
インドネシア人看護師候補者ビンタン・シラバンさん	5
放射線の人体への影響 / サフィニアとミリオンベルの育成	6
てんかん外来再診の診療体制 / 医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ	8
当院へのアクセス / イベント情報 / 本	8

高橋幸利臨床研究部長が「文部科学大臣表彰科学技術賞(開発部門)」を受賞!



当院臨床研究部の高橋幸利部長が、平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰を受賞しました。

この表彰は、文部科学省が、科学技術に関する研究開発、理解増進等において顕著な成果を収めた者について、その功績を讃えることにより、科学技術に携わる者の意欲の向上を図り、もって我が国の科学技術水準の向上に寄与することを目的として定めた科学技術分野の大臣表彰です。開発部門は、実際に活用されている画期的な研究開発若しくは発明を行った者が対象とされています。

受賞対象となった研究は「感染症に伴う自己免疫介在難治神経疾患の病態診断法の開発」です。難治てんかんの一つであるラスマッセン脳炎の病態における自己免疫異常に注目し、NMDA型グルタミン酸受容体(GluR)ε2(NR2B)およびGluRδ2に対する自己抗体の高感度測定法(イムノプロット法)を

世界に先駆けて確立し、日本のみならず世界から検査依頼を引き受けています。また、本検査がラasmussen脳炎にとどまらず急性辺縁系脳炎、慢性小脳炎、他の脳炎・脳症にも有用であることを明らかにしました。

現在では、これらの疾患における早期病態診断と早

期免疫療法の開始判断や予後改善に不可欠なものとなっています。

授与式は、平成22年4月13日に京王プラザホテルにおいて開催され、賞状と盾が授与されました。

(院長 井上 有史)

自己

小児科 医師

福山 哲広

出身地 ■長野県 趣味 ■スノーボード

診療分野 ■小児科全般 小児神経

抱負 ■様々な思いを持ってこの病院に来られた患者様とご家族が満足していただけるような質の高い医療を提供できるように頑張ります。

小児科 医師

那須 裕郷

出身地 ■宮崎県 趣味 ■マラソン・ドライブ

診療分野 ■小児科一般・てんかん

抱負 ■てんかんの治療だけでなく、子供の成長・発達に関してもサポートしていきたいと思ひます。宜しくお願いします。

小児科 医師

白井 大介

はじめまして、春から当院で勤務している白井大介と申します。小児を専門としています。四国の高知から静岡にやってきました。てんかんや発達障害を持つ子どもたちのために力を尽くしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願い致します。

脳神経外科 医師

近藤 聡彦

出身地 ■香川県高松市 趣味 ■トライアスロン

診療分野 ■脳神経外科、てんかん

抱負 ■てんかんという病態に対して幅広い視野を持って、日々の診療に取り組みたいです。

主任理学療法士

井場木 祐治

4月1日より天竜病院から異動となりました。前院では成人呼吸器・整形外科・神経内科疾患を中心に理学療法を行なっていました。小児発達系疾患は今まで接点がなかったため、学んでいきたいと思ひます。好きな事はアウトドアとお酒で、最近はお酒を飲む量が増えお腹が出できました…よろしくお願い致します。

臨床検査科 臨床検査技師

坂部 肇胤

この度臨床検査技師としてこの静岡てんかん・神経医療センターに配属されました。他の病院で業務経験が無いので期待と不安でいっぱいですが、病院を盛り上げていきたいと思ひます。

紹介

小児科 医師

伊藤 智城

本年4月よりA4病棟へ赴任となりました伊藤智城です。札幌からはるばるやってきました。静岡の暑さに負けないよう一生懸命仕事に励みたく思ひます。ご迷惑かけることも多々あると思ひますが何卒よろしくお願ひいたします。

小児科 医師

木村 暢佑

出身地 ■大阪府 趣味 ■お城めぐり、グルメ

診療科 ■小児科、小児神経科 診療分野 ■てんかん

抱負 ■てんかんの診断・治療以外にも、背景疾患、家庭環境、将来性をふまえた包括的な治療をこころがけたいと思ひます。

小児科 医師

須佐 史信

前任地の市立函館病院小児科で、神経外来をなさっている福島克之先生にご指導頂きました。卒後7年目です。2010年4月から1年間勉強させて頂く予定です。短い期間ではありますが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

精神科 医師

木村 記子

出身地 ■大阪府

趣味 ■旅行、ショッピング、子どもの洋服や小物を手作りすること

診療科 ■児童精神科 診療分野 ■発達障害

抱負 ■自分の専門性を活かして、少しでもたくさんの子どもの達や親御さんの力になれるように頑張りたいです。

薬剤科 薬剤師

宮川 紘

4月より薬剤科に採用になった宮川紘です。薬剤師としても社会人としても、早く一人前になれるように頑張りたいと思ひます。これからよろしくお願い致します。

作業療法士

山崎 陽平

今年の4月から作業療法士として勤務しています。今年学校を卒業したばかりですが、三十路です。気持ちは若く頑張ります。わからないことばかりですが、どうぞよろしくお願い致します。

第1回「ボランティア意見交換会」を開催して

4月15日(木)14時30分～15時30分の予定で患者さまのサービス向上のためにご尽力いただいているボランティアの方々と意見交換を行いました。また、日頃の活動に感謝の意を込めて感謝状もお送りしました。意見交換



会の参加者は、ボランティアの方20人と病院職員11人で、活発な意見交換が行われ予定時間を30分も超過してしまいました。

日頃、ボランティアの方々とは、担当者が個別にお話しすることはありますが、席を設けて話し合うことははじめてでした。この企画は、ボランティアの方々のご意見を聞き改善すべき点を明確にすること、活動内容の共有、ボランティアの方々の顔合わせなど多くの意味を持つことになりました。話し合いでは、ボランティアの現状と問題点、職員の対応、今後の方向性など多くの貴重な意見をいただきました。

ご意見は、今後ボランティア委員会で整理していきます。

病院は患者サービスの向上のため、様々なことに取り組んでいますが、その中でもボランティアの方々の活動は患者様の満足度に大きく貢献しています。定期的に訪問していただけるボランティア活動は、次の訪問日を指折り数えている患者様の姿やコンサートなどでは満面の笑みを浮かべる患者様の姿をみることができ、一年中四季折々の花が咲いている花壇は、病院の催し会場を彩り、また病院見学の方も感動されることが多いです。このように、ボランティアの方々の活動は、患者様と職員と病院を訪れる方々に笑顔と満足を吹き込んで下さっています。



これからも、この活動に感謝して、共に患者様のサービス向上に取り組んでいきたいと思っております。今後とも、よろしくお願ひします。

(副看護部長 松山 みどり)

ディポネゴロ大学(インドネシア)との学術交流

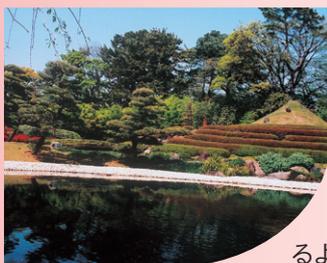
ディポネゴロ大学は、インドネシア中部のジャバ島のセマラン市にある学生数42,000人の同国最大の総合大学で、現在、医学部に600床の新しい病棟を建設中です。

このたび、同医学部附属病院がインドネシア政府により同国の「てんかん包括治療研究センター」に指定されたため、てんかん治療の中核センターとしてのプランを作成するため、平成22年4月に、Wibowo 学長、Soejoto 医学部長、Muttaqin 脳外科教授、Wibowo

リハビリテーション科教授が当院を訪問し、見学及び討論を行いました。当院は、専門センターとして今後の援助および協力を求められ、相互間の学術交流に関する覚え書きを交換し、教育・研究活動における協力を約束しました。



(院長 井上 有史)



駿府公園の中にある紅葉山庭園は駿府城の遺構を活かし、城郭の大名庭園に見られるような遊びと楽しさが見られるような所です。駿河の名勝を織り込んだ4つの庭を中心に四季折々の花を堪能することができます。

●● 駿府公園 ●●

また、公園に隣接する県庁別館21階は、たいそう展望が良く、西は御前崎、焼津の大崩海岸から東は富士山まで一望することができます。



(薬剤師 加藤 正紀)

第1回「病院フェア」を開催して

副看護部長 松山 みどり

6月9日(水曜日)10時から12時まで第1回「病院フェア」を開催しました。昨年の5月に「看護の日」のフェアを行いました。今年は、病院全体で取り組もうという声があり「病院フェア」の開催に至りました。



今年のポスターです

受付でパンフレットを配布させ

ていただいたのは156名でした。内容は、健康チェック、療育指導コーナー、体験コーナー、病院紹介、薬剤・



病院紹介しま〜す

治療コーナー、栄養コーナー、リハビリコーナー、放射線科や検査科のコーナー、医療福祉相談コーナー、患者様の作品紹介、看護

の紹介などです。当日は、てんかん情報センターも開館し利用していただきました。

今回は、外来と入院患者様およびご家族の方を対象に“病院のことを知っていただく”という主旨で行いました。広報は、院内にポス



会場風景



ボランティアの方

ターを掲示したりホームページに掲載しました。人気の骨密度は55名の方が測定され、他に体脂肪測定に45名の方がお見えに

なり健康への関心の高さを示していました。

また、外来中庭には、各部署で育てた鉢植えが華を飾りました。また、当院に定期的に訪問していただいているホスピタルクラウンもボランティアで参加いただきパルーンア



用具の展示

トなど楽しませて下さいました。外来フロアは、あいにくの雨にも関わらず賑やかで、患者様と病院



患者様の作品

スタッフの交流が深まりました。当院のことを少しでもお伝えできたのではないかと思います。ご来場いただきましたみな様、

ご協力いただきましたボランティアのクラウンさんや、えがおの会の方々、関係部署の方に深く感謝します。

看護師さんを募集しています!

①常勤職員：病棟勤務 夜勤有り ②非常勤職員(外来、B型通園、病棟)

経験の少ない方、育児等でブランクのある方でも心配はご無用です。「じっくり患者様と関わりたい」「ゆとりのある看護をしたい」とお考えの方、ぜひ当院で働いてみませんか? 相談、見学等随時お受けしております。お気軽に看護部長室までご連絡ください。

TEL ● 054-245-5446

E-mail ● kango-bu@szec.hosp.go.jp

重症心身障害看護の院内認定看護師を育成しています

看護師長 藤井 千穂子

当院には重症心身障害病棟が4病棟、160名の患者様が療養生活を送っています。160名の重症心身障害児(者)を受け入れている施設は全国でも多くありません。

看護においては、それぞれの病棟単位で勉強会や講演などを実施してきましたが、重症心身障害看護の質を向上させるために、昨年度から重症心身障害看護院内認定看護師を育成するプログラムを開始しました。その目的は、①重症心身障害看護の専門的知識を習得し看護実践に生かす ②重症心身障害児(者)看護の看護師として役割モデルとなり他者に指導ができることです。

1年目は、講義が16時間あり現在2年目で研究にとりこんでいます。受講する条件として「重症心身障害学会」へ出席することとしました。受講者は新潟で行われた学会へ出席し重症心身障害看護につ

いて視野を広げています。又、倫理的側面から親の思いを知る目的で「この子らの過去と未来」(親の熱意が政



治を変えた)をテーマに親の会代表の八木一三武氏にお話しをしていただきました。親の立場から当院の重症心身障害児(者)の歴史や当時の看護の状況をお話しいただきました。特に看護は人権を無視したようなことも多くあったとお聞きしました。現在の看護はとても素晴らしいと過分なお言葉を頂きましたが、それにおごることなく、4つの病棟で統一した看護を実践・指導できる専門的知識を習得した役割モデルを果たせる専門職を目指していきます。2年目は、実習・事例発表を行います。

インドネシア人看護師候補者ビンタン・シラバンさん

教育担当師長 佐藤 ひろ美 C1病棟看護師長 藤井 千穂子



インドネシア人看護師候補者ビンタン・シラバンさんはインドネシアで看護師免許を取得し歯科クリニックで働いていました。今回、国際経済連携協定(EPA)により日本の看護師免許を取得するため昨年9月から日本に来ています。12月まで箱根で日本語教育を受け、平成22年1月16日から当病院に勤務しています。

病棟は重症心身障害病棟(C1病棟)です。午前中は病棟看護師と一緒にオムツ交換、移動介助、入浴介助、食事介助などを行っています。患者さんにいつも、やさしく声をかけながら援助しています。「ビンタン」とはインドネシア語で星を意味する言葉

です。その名前の通り明るくおらかで、元気一杯の女性です。日本語も少しずつ上達し患者様に日本の絵本を使い読んであげています。午後は国家試験の勉強をする事になっていますが、病棟で日本の行事(ひなまつり・節分など)がある場合は参加しています。おひな様が大好きです。午後の2時間は国家試験の勉強です。「日本語難しい」と言いながら日本語辞書片手に一生懸命取り組んでいます。

また当病棟以外の職員と触れ合うためにボーリング大会やお花見にも参加しました。桜の花びらが散るたびに「きれいね」「きれいね」と感激していました。

全職員でビンタンさんをサポートし来年2月の国家試験合格にむけ協力しています。



放射線の人体への影響

放射線科で仕事をしていますと「昨日も撮影したけど大丈夫？」などの質問をよく受けます。「何を心配されていますか？」と伺うと「何か分からないけど怖い、不安だ。」こんな回答が返ってきます。その原因は放射線についてあまり知られていないことにあるのではないかと思います。学生時代、放射線について唯一記憶に残っているのが広島・長崎の原爆による被ばく、ここから放射線＝被ばく＝がんになる。という悪いイメージがあるのではないのでしょうか。このイメージを少しでも改善できればと思います。

まず、放射線は量が問題になります。これはお酒と同様に考えればわかりやすいと思います。少しの量のお酒であれば気分も良くなりますが大量に飲めば死にいたります。放射線も少しの被ばくであれば問題ありませんが大量に被ばくすれば死にいたるのです。量の話になると数字を知りたくなるのが人情ですが放射線の単位等難しい話になるので少しだけ1回の被ばくで100mGy(グレイ)程度が影響の可能性のある限界であることが分かっています。つまりそれ以下の被ばくでは放射線による影響なのか他の因子による影響なのか区別できないということになります。また1回全身200mGy以上になると放射線による有意差が現れることも分かっています。おおよその値(赤色骨髄の線量)で胸部X線撮影0.05mGy、全身CT撮影4mGyです。私の感覚ではキチンと管理された放射線撮影装置で1回全身に200mGyを超えてしまうことはまずないと思います。またこの数字を超えたからと言って必ず影響があるというものでもないのです。

次に被ばくした部分です。全身に被ばくしたのか、手に

被ばくしたのかです。手に被ばくしたのに頭の毛が抜ける心配はいらぬのです。手の毛が抜ける可能性はありますがこれも先に述べた量の問題です、毛が抜けるほどの線量(3000mGy)はまず一般の診療では浴びません。

最後に回数です、一回で被ばくしたのか何回かに分けて被ばくしたのかです。人体への放射線の影響はDNAを損傷することで現われてきます、従って一回被ばくしてもDNAが修復されれば影響は現われてこないのです。放射線治療では大線量を照射しますが人体への影響を考慮して何回かに分けて分割照射を行います。

いかがでしょうか？少しでも不安解消につながれば幸いです。数字の部分は参考程度にしてください、厳密には放射線の単位、Gy(グレイ)、Sv(シーベルト)、全身被ばく、部分被ばく、確率的影響、確定的影響、等価線量、実行線量等考慮しなければいけない部分がたくさんあります、ここでは感覚的に大小を判断していただければと思います。

放射線科の待合に放射線について書かれたものがファイルしてありますので是非、放射線のことを不安に思っている方はご覧になってください。

参考文献も挙げておきますので機会があればご一読を！

「改訂新版 あなたと患者のための放射線防護Q&A」:

医療科学社

「何か心配ですか？医療被ばく」:日本放射線技師会出版会

「低線量放射線と健康影響」:医療科学社

「医療被ばくガイドライン」:医療科学社

「医療被ばく」:日本放射線技師会出版会

「医療被ばくと説明マニュアル」:日本放射線公衆安全学会

「放射線取扱の基礎」:日本アイソトープ協会

(放射線科 診療放射線技師 岸田 亮)



サフィニアとミリオンベルの育成

当院では、患者さんに安らぎと潤いを提供する一つの試みとして、26の職場で計60の花苗(サフィニアとミリオンベル)の育成を4月7日より始めました。

これらの苗は、適切な水やり、肥料、摘芯により

愛情をもって上手に育てますと、11月まで鉢から溢れんばかりの花を咲かせます。

9月頃には、品評会を開催する予定です。スタッフは、愛しんでケアすることの大切さを育苗からも学びたいと思います。

次号、写真で経過報告いたします。是非、お楽しみに！

(事務部長 鈴木 悟)

てんかん外来再診の診療体制

てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

	月	火	水	木	金
第1診察室	中村	中村	臼井桂	山崎	臼井直
第2診察室	久保田英			久保田英	
第3診察室	今井		井上	今井	松田
第4診察室		鳥取	日吉		日吉
第5診察室	池田仁	池田浩	池田浩	寺田	寺田
第6診察室	芳村	山崎		芳村	馬場好
第7診察室		小出		最上	高山
第8診察室			高橋		
第9診察室	重松				重松

神経内科

※第2、4週は馬場(国)

	月	火	水	木	金
第10診察室	溝口	溝口	溝口		溝口、馬場 [※]
第11診察室	杉浦	小尾	山崎		小尾

特殊外来

転倒予防外来	随時	溝口、小尾
物忘れ外来	随時	溝口、小尾
遺伝相談	適宜	高橋、溝口、小尾

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、医療連携室(予約センター)を設置しています。ご利用ください。(平日)

TEL ■ 054-246-4580(初診)

054-246-1065(再診)

FAX ■ 054-246-4607

予約センターの受付時間

● 9:00~12:30 ● 13:30~17:00

E-mail ■ renkei@szec.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、脳磁図、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。

上記、医療連携室にお問い合わせください。

広報誌編集委員会

編集人■

溝口 功一	寺田 清人	藤井 千穂子
佐藤 ひろ美	加藤 正紀	柘植 仁
児玉 和久	中島 賢二郎	堀 友輔
山本 恵	長田 英喜	

発行 ■ 平成22年7月30日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山 886

TEL ■ 054-245-5446

FAX ■ 054-247-9781

URL ■ <http://www.shizuokamind.org>

E-mail ■ shizuoka@szec.hosp.go.jp

はじめて当院を受診される方へ

◆診察は予約制になっています◆

1 受診のための手続きは…

予約制は、ご本人・ご家族から当院医療連携室(054-246-4580)へ、あるいは主治医の先生から当院医療連携室へ申し込んでください。その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

2 セカンドオピニオンについて

セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

3 紹介状について

現在すでに病院へかかっておられる方は、主治医の紹介状があることが望ましいですが、なくても結構です。紹介状がない場合は別途費用(2,625円)がかかりますので、ご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

4 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	JR静岡駅前、北口バスターミナル2番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・国立神経医療センター」行に乗車、終点の“国立神経医療センター”で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人350円、小児180円。
タクシーをご利用の場合	JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,200円程度。
お車の場合	東京方面から 東名高速清水インターより、静岡バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ数分。所要約20分。
	名古屋方面から 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ数分。所要約30分。



イベント情報

- 2010年てんかん学研修セミナー(2)【成人てんかん患者の診療に携わっている、あるいは携わる予定の医師】
2010年8月27日(金)～28日(土)
於 ◆ 当院管理棟3階講堂
- 第26回てんかん専門職セミナー【てんかんをもつ学齢期にかかわる専門職】
2010年8月6日(金)
於 ◆ 当院管理棟3階講堂

本

- アトラス てんかんの発作間欠時・発作時脳波を読む【診断と治療社、2007年】
てんかん症候群におけるあらゆる病態の脳波記録を網羅的に掲載し、それぞれについて詳細でわかりやすい脳波判読のしかたを解説しています。
- てんかん症候群：乳幼時・小児・青年期のてんかん学【中山書店、2007年】
世界で愛読されているてんかんの教科書です。典型的な発作DVDが付属しています。

てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- ① てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- ② ホームページによる情報提供
- ③ てんかん協会との連携
- ④ 医療などの相談(予定)